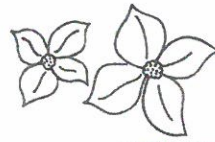




# やまぼうし



社会福祉法人 市島福祉会  
認定こども園 いちじまこども園

〒669-4321  
兵庫県丹波市市島町上垣138-1  
(☎) 0795-85-2330  
(fax) 0795-85-2335  
<http://www.ichijima-kodomoen.com>

こども園HP



<教育・保育理念>  
受容・信頼・貢献感

いきよう  
ちからいっぱい  
じぶんらしく  
まっすぐに

## 生活習慣を身につける事

こども園では遊びながら経験を増やしたり、学習したりしますが、なによりも、食べる・排泄するなど生活そのものがメインです。それは年齢が小さい程、とても重要で子どもたちが成長していく上で必要な事になります。覚えはじめに適切な事を経験したり、身につけたりする事は、その子の土台となり、その後の人生を支えます。身につけるのに適切な年齢とタイミング、そして一人一人にあった、丁寧であたたかい援助の仕方を考え、繰り返すと積み重ねを大切にしながら日々の教育、保育にあたっています。

▼0歳児は午前睡も必要です。

### 睡眠!



### 排泄!

▲トイレに行きやすい雰囲気作りや、トイレの後の手洗いも大切にしています。2歳児から、自分でパンツをはいたり、衣服を着替えたりという事にも挑戦しています。



### 片づけ!



▲持ち物を大切に。使ったらちゃんと片づけます。



今だから身につく大切なこと

### 食事!



▲給食ではまずはおいしく食べる事!そして年齢に応じてマナーを身につけていきます。

### 整える!



▲3歳児以上は、自分での靴の脱ぎ履きはもちろん、靴を揃える習慣がつくようにもしています。

### 着脱!

▲0~3歳児はお昼寝も必要です。パジャマに着替える事でボタンどめや衣服をたたむ事を覚えます。



## 倉橋惣三の言葉

外には雨が降りつつつけている。  
部屋の内は笑い声で  
晴れわたっている。

窓硝子はぬれて曇っているが、

子どもたちの顔は

みんな明るく輝いている。

外からの光でなく、

内からの光である。

天の太陽は

雲につつまれる日があつても、

この小さな太陽たちは、

いつだって好天気だ。

「育ての心」より

倉橋惣三(1882、1955)

「日本のフレール」あるいは「日本の幼児教育の父」と呼ばれる幼児教育学者。倉橋が展開した子どもの心に徹底的に寄り添い、子どもの遊びや自発性を重視した幼児教育論は、まさしく現代に通じるもの。誘導保育論が特に有名である。

